

<b>事業名</b>		トワイライトスクール				
<b>作成部署</b>		子ども青少年局	子ども未来部	子ども事業調整室		
中期戦略ビジョンに最も関連のある施策	<b>施策</b>	8	子どもが健やかに育つ環境をつくります			
	<b>展開</b>	1	子どもが心身ともに健康に育つための支援			
	<b>主な事業</b>	トワイライトスクール・留守家庭児童健全育成事業の推進				
<b>目的</b>	対象(誰・何を)	小学校の児童				
	意図(どういう状態にしたいか)	人とのふれあいや交流、遊びや体験活動などを通して、自主性、社会性、創造性などを育みながら、安心・安全に、かつ豊かで健やかに放課後を過ごすことができる環境整備を図ります。				
<b>事業の内容</b>		子どもたちの自主性、社会性、創造性などを育むことを目的として、放課後などに小学校施設を活用して、子どもたちが学年の異なる友だちと自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の大人と交流することなどを行う場を提供します。				
<b>22年度の実施内容</b>		246校の小学校において実施し、延べ1,977,946人の子どもが参加しました。その中で、伝承遊びや工作、レクリエーションなどの体験活動を1校あたり月平均12.4回開催するなどの活動を行いました。				
<b>施策への貢献</b>		子どもや保護者にとって安心・安全な小学校施設を活用して、ほぼ全校で日曜日等を除く毎日実施することで、子どもたちが健やかに育つ環境を整備しています。				<b>施策貢献度</b> <input checked="" type="checkbox"/> A: 極めて大きい <input type="checkbox"/> B: 貢献あり <input type="checkbox"/> C: 貢献小さい
<b>指標</b>	<b>項目</b>	<b>21年度実績</b>	<b>22年度実績</b>	<b>計画・予定等</b>	<b>説明</b>	<b>事業の進捗状況</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 実績 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> その他	トワイライトスクールの実施率	97.3% (256校/263校)	97.7% (256校/262校)	26年度 100%	全小学校数に対する実施校数の割合 (放課後子どもプランモデル事業実施10校を含む)	<b>計画管理型</b> <input type="checkbox"/> A: 順調 <input type="checkbox"/> B: やや遅れ <input type="checkbox"/> C: 遅れ
<input checked="" type="checkbox"/> 実績 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> その他	トワイライトスクールへの登録率	低学年77.1% 高学年26.8%	低学年76.0% 高学年24.4%	26年度 低学年80% 高学年30%		<b>成果経年比較型</b> <input type="checkbox"/> A: 向上 <input checked="" type="checkbox"/> B: ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> C: 低下
<input type="checkbox"/> 実績 <input checked="" type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> その他	トワイライトスクールへの満足度	—	子ども68.2% 保護者76.5%	26年度 子ども・保護者とも80%	「満足している」又は「どちらかという満足している」との回答を合計した割合	<b>23年度へ改善・見直し</b> <input type="checkbox"/> A: 廃止・抜本的見直し <input type="checkbox"/> B: 改善・見直しあり <input type="checkbox"/> C: 改善・見直しなし
<input type="checkbox"/> 実績 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> その他				年度		<b>事業にかかる経費の増減</b> <input type="checkbox"/> A: 減少 <input checked="" type="checkbox"/> B: ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> C: 増加
<b>事業費(千円)</b>		<b>21年度決算額</b>	<b>22年度決算見込額</b>	<b>23年度予算額</b>	<b>備考・説明</b>	
事業費		2,012,041	1,993,178	2,042,571		
うち一般財源額		1,552,115	1,514,412	1,528,625		
職員数(概数・人)		3.0	3.0	3.0		
職員人件費(概算)		26,910	25,200	25,290		
人件費を含めた費用		2,038,951	2,018,378	2,067,861		
<b>公的関与の性質別区分</b>	7	民間のサービスだけでは市域全体にとって望ましい質、量のサービスの確保ができないため、これを補完・先導する事業				<b>行政の活動領域</b> <input checked="" type="checkbox"/> C: 行政領域・中
<b>実施方法</b> (該当するものすべて)	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争) <input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随契) <input type="checkbox"/> 直接実施(契約事務・交付事務等を除く)					<b>委託等拡大</b> <input checked="" type="checkbox"/> A: 拡大できない <input type="checkbox"/> B: 予定あり <input type="checkbox"/> C: 予定なし
根拠法令・要綱等	トワイライトスクール実施要綱					
<b>開始年度</b>	平成9年度	<b>終了予定年度</b>		—		
<b>総務局の意見</b>	[改善・見直し] 放課後子どもプランモデル事業をしっかりと検証し、トワイライトスクール、留守家庭児童健全育成事業との関係を早急に整理すべき。					

<b>事業名</b>		留守家庭児童健全育成事業助成				
<b>作成部署</b>		子ども青少年局	子ども育成部	青少年自立支援室		
中期戦略ビジョンに最も関連のある施策	<b>施策</b>	8	子どもが健やかに育つ環境をつくります			
	<b>展開</b>	1	子どもが心身ともに健康に育つための支援			
	<b>主な事業</b>	トワイライトスクール・留守家庭児童健全育成事業の推進				
<b>目的</b>	対象(誰・何を)	市内の小学校に在学する留守家庭児童				
	意図(どういう状態にしたいか)	下校後帰宅しても保護者が就労等により適切な監護が受けられない留守家庭児童の健全育成を図ります。				
<b>事業の内容</b>		<p>就労等で下校後保護者が不在な留守家庭児童の小学生を対象に、児童福祉法第6条の2第2項に定める放課後児童健全育成事業を実施する地域の留守家庭児童育成会に対して、運営費の助成を行っています。(指導日は原則、日曜日、祝日、年末年始を除く毎日)</p> <p>なお、平成23年度から、育成会が障害児を新たに受け入れる場合、専用室の改修費の一部を助成します。</p>				
<b>22年度の実施内容</b>		留守家庭児童育成会(平成23年3月 166か所)に対し、入会する児童数や障害児の受入状況などに応じて助成し、育成会の運営を支援しました。				
<b>施策への貢献</b>		その他の放課後子ども施策とあわせて、留守家庭児童の健全育成を図ることに貢献しています。				<b>施策貢献度</b> <input type="checkbox"/> A: 極めて大きい <input checked="" type="checkbox"/> B: 貢献あり <input type="checkbox"/> C: 貢献小さい
<b>指標</b>	<b>項目</b>	<b>21年度実績</b>	<b>22年度実績</b>	<b>計画・予定等</b>	<b>説明</b>	<b>事業の進捗状況</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 実績 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> その他	登録育成会数	165	166	—	年度	計画管理型 <input type="checkbox"/> A: 順調 <input type="checkbox"/> B: やや遅れ <input type="checkbox"/> C: 遅れ
<input checked="" type="checkbox"/> 実績 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> その他	登録児童数	3,215	4,810	—	年度	成果経年比較型 <input type="checkbox"/> A: 向上 <input checked="" type="checkbox"/> B: ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> C: 低下
<input type="checkbox"/> 実績 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> その他					年度	23年度へ改善・見直し <input type="checkbox"/> A: 廃止・抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> B: 改善・見直しあり <input type="checkbox"/> C: 改善・見直しなし
<input type="checkbox"/> 実績 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> その他					年度	事業にかかる経費の増減 <input type="checkbox"/> A: 減少 <input checked="" type="checkbox"/> B: ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> C: 増加
<b>事業費(千円)</b>		<b>21年度決算額</b>	<b>22年度決算見込額</b>	<b>23年度予算額</b>	<b>備考・説明</b>	
事業費		656,879	710,176	747,179		
うち一般財源額		506,676	500,146	534,730		
職員数(概数・人)		17.3	17.3	17.3		
職員人件費(概算)		155,181	145,320	145,839		
人件費を含めた費用		812,060	855,496	893,018		
<b>公的関与の性質別区分</b>	7	民間のサービスだけでは市域全体にとって望ましい質、量のサービスの確保ができないため、これを補完・先導する事業				<b>行政の活動領域</b> <input checked="" type="checkbox"/> C: 行政領域・中
<b>実施方法</b> (該当するものすべて)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争) <input checked="" type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随契) <input type="checkbox"/> 直接実施(契約事務・交付事務等を除く)					<b>委託等拡大</b> <input checked="" type="checkbox"/> A: 拡大できない <input type="checkbox"/> B: 予定あり <input type="checkbox"/> C: 予定なし
根拠法令・要綱等	児童福祉法、留守家庭児童育成会運営助成要綱、留守家庭児童専用室設置要綱					
<b>開始年度</b>	昭和47年度		<b>終了予定年度</b>	—		
<b>総務局の意見</b>	[改善・見直し] 放課後子どもプランモデル事業をしっかりと検証し、トワイライトスクール、留守家庭児童健全育成事業との関係を早急に整理すべき。					

<b>事業名</b>		児童館の運営				
<b>作成部署</b>		子ども青少年局	子ども育成部	青少年自立支援室		
中期戦略ビジョンに最も関連のある施策	<b>施策</b>	8	子どもが健やかに育つ環境をつくります			
	<b>展開</b>	1	子どもが心身ともに健康に育つための支援			
	<b>主な事業</b>	—				
目的	対象(誰・何を)	18歳未満の子ども及びその保護者				
	意図(どういう状態にしたいか)	遊びを通して、子どもの健康を増進し情操を豊かにします。				
<b>事業の内容</b>		<p>児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的として、児童福祉法第40条に基づいて設置している児童厚生施設です。</p> <p>市内16か所各区に設置し、管理運営は指定管理者により運営委託しています。(指定管理者：(福)名古屋市社会福祉協議会、(福)名古屋市東区社会福祉協議会、(特非)ワーカーズコープ、子どもNPO・たすけあい名古屋・名古屋市社会福祉協議会コンソーシアム等)</p> <p>○敷地面積：平均 約2,030㎡(福祉会館等との合築施設は福祉会館等の分を含む。)</p> <p>○延床面積：平均 約590㎡</p>				
<b>22年度の実施内容</b>		自主的な遊び場の提供、行事活動、クラブ活動、ボランティアの育成・支援、留守家庭児童クラブの運営等各種事業を実施しました。				
<b>施策への貢献</b>		指定管理者の創意工夫により、事業内容の充実が図られ、子どもが心身ともに健康に育つための支援に貢献しています。				<b>施策貢献度</b> <input type="checkbox"/> A: 極めて大きい <input checked="" type="checkbox"/> B: 貢献あり <input type="checkbox"/> C: 貢献小さい
<b>指標</b>	<b>項目</b>	<b>21年度実績</b>	<b>22年度実績</b>	<b>計画・予定等</b>	<b>説明</b>	<b>事業の進捗状況</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 実績 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> その他	延べ利用者数	507,162人	559,877人	—	年度	計画管理型 <input type="checkbox"/> A: 順調 <input type="checkbox"/> B: やや遅れ <input type="checkbox"/> C: 遅れ
<input checked="" type="checkbox"/> 実績 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> その他	行事、クラブ活動数	4,895回	5,466回	—	年度	成果経年比較型 <input checked="" type="checkbox"/> A: 向上 <input type="checkbox"/> B: ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> C: 低下
<input type="checkbox"/> 実績 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> その他					年度	23年度へ改善・見直し <input type="checkbox"/> A: 廃止・抜本的見直し <input type="checkbox"/> B: 改善・見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> C: 改善・見直しなし
<input type="checkbox"/> 実績 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> その他					年度	事業にかかる経費の増減 <input type="checkbox"/> A: 減少 <input checked="" type="checkbox"/> B: ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> C: 増加
<b>事業費(千円)</b>		<b>21年度決算額</b>	<b>22年度決算見込額</b>	<b>23年度予算額</b>	<b>備考・説明</b>	
事業費		487,671	481,629	498,586		
うち一般財源額		441,331	433,346	451,051		
職員数(概数・人)		1.2	1.2	1.2		
職員人件費(概算)		10,764	10,080	10,116		
人件費を含めた費用		498,435	491,709	508,702		
<b>公的関与の性質別区分</b>	7	民間のサービスだけでは市域全体にとって望ましい質、量のサービスの確保ができないため、これを補完・先導する事業				<b>行政の活動領域</b> C: 行政領域・中
<b>実施方法</b> <small>(該当するものすべて)</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争) <input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随契) <input type="checkbox"/> 直接実施(契約事務・交付事務等を除く)					<b>委託等拡大</b> <input checked="" type="checkbox"/> A: 拡大できない <input type="checkbox"/> B: 予定あり <input type="checkbox"/> C: 予定なし
根拠法令・要綱等	児童福祉法、児童福祉施設条例					
<b>開始年度</b>	昭和25年度		<b>終了予定年度</b>	—		
<b>総務局の意見</b>	[改善・見直し] 生涯学習センター、福祉会館とは集会室などの機能が重複している為、施設の有効活用の観点から3施設の統合を検討すべき。またコミュニティセンターやトワイライトスクール等の活用による児童館の一部機能の代替についても検討すべき。					